

News Release

プルデンシャル生命保険株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-13-10 プルデンシャルタワー
<http://www.prudential.co.jp>



2006年7月25日

プルデンシャル生命保険株式会社

舞台「IMAGINE 9.11」を特別協賛 ～社員がボランティアでドナー登録会を支援～

プルデンシャル生命保険株式会社（本社、東京都千代田区永田町、代表取締役社長兼最高執行責任者 三森 裕）は、骨髄バンクの支援活動を行っている歌手の刀根麻理子さんが主宰する舞台「IMAGINE 9.11」を特別協賛します。弊社社員も、各地域で骨髄バンクの活動を支えている方々と協力して、ボランティアで公演当日に開催予定のドナー登録会や、公演の運営補助を行う予定です。

骨髄バンクボランティアネットワークの代表を務める刀根さんは、芸能生活の傍ら骨髄バンクの支援活動を17年間続けています。「IMAGINE 9.11」は、より多くの人に骨髄バンクに関心をもってもらえるよう演劇というエンターテインメントを通じて広く世に訴えるという試みであり、刀根さんの活動に賛同した俳優、友人が出演します。昨年の東京公演が好評だったため、今年は8月23日（水）～9月10日（日）まで全国11ヵ所で公演されることになりました（長野・東京公演は弊社特別協賛対象外）。

弊社はドナー登録推進活動に全社を挙げて取り組んでいます。一社員の発案をもとに保険業法施行規則改正の働きかけを行い、骨髄を提供するための採取手術を受けた場合に手術給付金をお支払いする日本初のサービス「ドナー・ニューズ・ベネフィット（以下 DNB）」を開始したことや、日本赤十字社の登録受付窓口やドナー登録会に出向かなくても、社内の定期健康診断を利用してドナー登録を行える仕組みを日本で初めて導入したことはその一例です。弊社が刀根さんの活動を応援することで、ドナー登録の推進と血液難病に苦しむ患者さんの現状を多くの人に知っていただく一助になればと考えています。

（財）骨髄移植推進財団（1991年12月設立）によると、骨髄移植を待つ患者は年間約2,000人以上に及んでいます。現ドナー登録者数は251,040人（平成18年6月末現在）ですが、全国の患者を救うためには30万人のドナー登録が必要だと言われています。

骨髄移植推進財団の正岡徹理事長は「刀根さんの IMAGINE 9.11 の全国公演、そして公演を応援してくださるプルデンシャル生命に謝意を申し上げたい。骨髄移植推進財団の活動がより多くの国民の皆様に理解されることを心から望んでいます」と感想を述べています。

また、全国骨髄バンク推進連絡協議会の大谷貴子会長も「この IMAGINE 9.11 は全国骨髄バンク推進連絡協議会も後援という形で支援しております。全国での公演を通じて、ドナー登録の輪がより一層広がればと願っております」としています。刀根さんは、「今回の協賛により全国で公演を行うことができ、大変嬉しく思っています。この舞台を通して、難治性血液疾患や骨髄移植への正しい認識が広がればと思っています」と謝意を表しています。

プルデンシャル生命保険社長の三森 裕は「昨年 4 月に DNB のサービスの提供を開始してから、すでに 21 件、284 万円の支払いを行っており(2006 年 6 月末現在)、社会的にも骨髄移植に対する関心が高まっているように感じています。弊社では、健康診断時に採取した血液をドナー登録に使用できる仕組みを導入するなど全社的な取り組みを行っており、社員も積極的に協力しています。今後もドナー登録 30 万人の目標達成に向けて、ドナー登録の推進と経済的に恵まれない血液難病患者への支援を積極的に進めてまいります」と述べています。

添付資料

- ① 各地の公演日程および社員によるボランティア活動・「IMAGINE 9.11」とは
- ② プルデンシャル生命保険 ドナー登録推進活動一覧

各地の公演日程および社員によるボランティア活動

開催場所	熊本	福岡	北九州	岡山	大阪	富山	金沢	福井	名古屋
日程	8/23(水)	8/24(木)	8/25(金)	8/27(日)	8/28(月)	9/3(日)	9/4(月)	9/5(火)	9/6(水)
会場名	熊本市産業文化会館	福岡市立少年科学文化会館	北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」	岡山市民文化ホール	松下IMPホール(大阪市)	富山県教育文化会館	石川県文教会館	フェニックスプラザ小ホール(福井市)	名古屋市青少年文化センター「アートピア」
会場住所	〒860-0806 熊本市花畑町7-10	〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-5-27	〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4	〒703-8293 岡山市小橋町1-1-30	〒540-6306 大阪市中央区城見1-3-7松下IMPビル	〒930-0096 富山市舟橋北町7-1	〒920-0918 金沢市尾山町10-5	〒910-0018 福井市田原1-13-6	〒460-0008 名古屋市中区栄3-18-1
開演時刻	18:30	18:30	18:30	17:30	19:00	17:30	19:00	19:00	19:00
当社担当支社	熊本	福岡・博多	北九州	岡山	大阪北	富山	金沢	福井	名古屋 他
ボランティア内容	熊本産業交通のバスターミナルにて、大ドナー登録会を支援予定。りんどう太鼓演奏(予定)、フリーマーケットでカキ氷とヨーヨーのお店を出店。	ドナー登録会を支援予定。	ドナー登録会支援予定。支社入居ビル1Fにポスター掲示、お客様へのチラシ配布等のPR支援	お客様等にポスター・チラシ配布。受付等公演支援、ドナー登録会を支援予定。	ドナー登録会または登録説明会を支援予定。支社から10名がボランティアとして参加予定。	ドナー登録説明会を支援予定。	ドナー登録説明会を支援予定。また、ライフプランナー15名が公演の誘導ボランティアを行う。	ドナー登録会を支援予定。ドナー登録普及活動の補助、公演設営時の補助作業、入場整理、駐車場整理を実施。支社のほとんどのライフプランナーが参加予定。	ドナー登録会または登録説明会を支援予定。それ以外のイベントは詳細未定。(「名古屋らしい」イベントを開催予定)

～「IMAGINE 9.11」とは～

世界を震撼させた米国同時多発テロが起きた2001年9月11日、日本では3人の患者が米国からの骨髄液を待っていた。しかし、テロの影響で米国全土の空港が閉鎖され、航空機の離発着が全面禁止となった。

すでに3人の患者には移植手術に備えて免疫機能を低下させる前処理が施されていたため、骨髄液が届かなければ命の危険にさらされる。誰もが不可能とあきらめかけていたとき、日米骨髄バンク関係者の必死の説得により、米国連邦航空局が緊急輸送の特別飛行を許可。骨髄液は無事、日本で待つ3人の患者の元に届き骨髄移植が行われた。

感動的な実話に触発された刀根さんの夫、H・T・ISSUIさんが、2002年秋に書き上げた小説をもとに演劇化、2005年8月に東京で初上演されている。

ホームページ <http://www.imagine911.com/top.html>

プルデンシャル生命保険 ドナー登録推進活動一覧 (2004年4月以降)

開催日		イベント	活動内容
2004年	4月22日 ・4月27日	献血・ドナー登録会(本社)	ドナー登録者数:49名(ジブラルタ生命含む)
	11月6日	日本骨髄バンク チャリティコンサート(さいたま支社)	社員がボランティアで、チケット販売の協力や当日の運営を支援
2005年	4月22日	ドナー・ニーズ・ベネフィット 開始	骨髄を提供するドナーにも手術給付金をお支払するサービスを開始
	5月4日 ～8月31日	2005ゴルフダイジェスト全日本ダブルスゴルフ選手権 プルデンシャル生命カップ (主催:ゴルフダイジェスト社)	社員がボランティアで大会運営補助 参加費の一部およびチャリティーオークション売上を(財)骨髄移植推進財団に寄付(2,862,385円)
	5月4日 ～9月9日	ファミリーダブルスゴルフ大会 プルデンシャル生命カップ (主催:ゴルフダイジェスト社)	
	7月5日 ～14日	定期健康診断時にドナー登録を実施(本社計4回・名古屋)	企業の健康診断時にドナー登録をあわせて行うことは日本初 ドナー登録者数:43名
	5月11日 ・5月25日	献血・ドナー登録会(本社)	ドナー登録者数:94名(ジブラルタ生命含む)
	9月15日	ドナー登録会(さいたま支社)	支社内のドナー登録プロモーションの一貫として支社内で実施 ドナー登録者数:31名
	10月1日	グローバル・ボランティア・デー(本社)	献血・ドナー登録会を開催 ドナー登録者数:19名(近隣住民等含む)
	10月1日	グローバル・ボランティア・デー(大阪中央支社)	NPO法人関西骨髄バンク推進協会の協力を得て、骨髄バンクの街頭募金、チャリティバザーを開催 関西骨髄バンク推進協会に123,747円を寄付
	10月16日	骨髄バンク推進キャンペーン(東京) (主催:(財)骨髄移植推進財団・東京21世紀ライオンズクラブ)	社員がボランティアで、献血・ドナー登録の呼びかけ、ティッシュ配布、献血車でサポートや、体験談を披露。ドナー登録者数:約90名
	10月17日	グローバル・ボランティア・デー(福井支社)	支社でドナー登録会開催 ドナー登録者数:34名
2006年	1月2日 ～3日	箱根駅伝 (主催:関東学生陸上競技連盟)	沿道で骨髄バンクののぼりを立ててPR 都内の支社を中心に、社員・家族含め約170名が参加 参加社員人数とのマッチングで佐藤さち子患者支援基金に86万円を寄付
	4月16日	バイシクルライド2006イン東京 (主催:バイシクルライド実行委員会)	社員29名が交通整理などのボランティアで大会をサポート 参加社員人数とのマッチングで、佐藤さち子患者支援基金に562,500円を寄付
	4月9日	シマノもてぎロードレース(主催:株式会社シマノ) (水戸・宇都宮支社)	募金活動を実施 (財)骨髄移植推進財団に13,835円を寄付
	5月20日 ～21日	2006福山ばら祭(主催:福山祭委員会)(福山支社)	出店および募金活動を実施 (財)骨髄移植推進財団に30,000円を寄付
	5月23日	献血・登録会を実施(本社)	ドナー登録者数:7名(ジブラルタ生命含む)
	7月15日 ～9月30日	プルデンシャル生命カップ ゴルフダイジェスト ファミリーゴルフディ (主催:ゴルフダイジェスト社)	社員がボランティアで大会運営補助 参加費の一部を佐藤さち子患者支援基金に寄付予定
	7月26日 ～9月21日	2006 ゴルフダイジェスト 全日本ダブルスゴルフ選手権 プルデンシャル生命カップ (主催:ゴルフダイジェスト社)	